

第80回研修会 新聞掲載記事

2月21日金曜日の釧路新聞に、第80回研修会(北海道・標津)の活動を掲載して頂きました！

釧路新聞

平成26年(2014年)2月21日(金曜日)



ポー川史跡自然公園でスノーシュートレッキングを楽しむ留学生ら



首都圏留学生が冬満喫

料理やスノーシュー楽しむ

標津

【標津】首都圏の大学で学ぶ留学生らが12・17日の6日間、同町を訪れ、さまざまな体験やホームステイ、交流を通して日本の文化や風習を学び、標津ならではの冬を楽しんだ。

留学生支援や国際交流促進を図る共立国際交流奨学財団(東京都)が主催する研修旅行で、標津町エコ・ツーリズム交流推進協議会による受け入れは今回で5回目。首都圏の大学や母国で日本語を学んでいる

る学生などが対象で、夏と冬の年2回実施されている。

今回は、中国や韓国などアジア圏のほか、アメリカやブルガリアなど8カ国(日本含む)の学生17人が

来町。ジャガイモの郷土料理作りや金山スキー場でのスキー体験、羅臼沖で流氷・バードウォッチングなどに臨んだ。

このうち13日は、ポー川史跡自然公園で標津町観光ガイド協会の町民ガイドに

よる指導を受け、スノーシュートレッキングに挑戦。留学生らは晴れ渡った青空の下、どこまでも続く雪原を進み白銀の世界を堪能した。

お茶の水女子大学1年のカリナ・スパソヴァさん(21)は「冬だからこそ今こゝでしかできない貴重な体験になった。このような寒い所で、心が温かい人々に出会えて本当に感謝したい」と話していた。

(原田未央)